

研究課題名

各種臨床検査における呼気エアロゾル拡散シミュレーション研究

本研究では、ちば県民保健予防財団倫理審査委員会の承認を得て、理事長の許可日から 2021 年 3 月までの期間に新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染経路であるエアロゾルの空気中の拡散および周囲環境への付着状況のシミュレーションを千葉大学工学部と共同研究を行います。

COVID-19 の感染経路は、飛沫感染と接触感染であり、『3つの密』といわれる密閉、密集、密接を避けることが感染防止つなぐとされています。

死亡率減少を目的に実施されているがん検診は、その多くが巡回型(移動式)(検診車)によって行われています。検診車による検診では、施設内と比較して密閉した空間に、受診者と医療者が密接しながら検査を行い、感染のリスクを避けることがどうしても難しい状況になっています。

現在、COVID-19 が終息する時期がはっきりしていません。そのためのがん検診の実施を止めてしまうと、今後のがん発見率や死亡率に影響を及ぼしてしまうことが危惧されます。

今回の研究によって適切で効果的な感染対策を行い、受診者や医療者が安全で安心して受けられる検診体制を構築することを目指した研究であります。

当財団では検診車内の機器や立体配置、サイズ計測、検査の擬似モデルとして 3D スキャンを用いて人物の静止状態のサイズを測定します。

本研究における個人情報等の扱いは以下のとおりです。

1. 本研究は検診車の仮想空間内での PC によるシミュレーション研究です。擬似モデルの研究であり、本研究のために新たに人体試料の採取は行いません。
2. 研究の成果は学会や学術雑誌等で公表する予定ですが、個人が特定できる情報を公表することはありません。
3. 本研究の主任研究者及び分担研究者は、本研究に関する利益相反はありません。

お問い合わせ等につきましては、下記まで御連絡下さい。

研究責任者 総合健診センター乳腺科 診療部長 橋本 秀行

問い合わせ先電話番号：043-246-8606